

平成29年度 秋の河川一斉パトロール(第92回)の実施結果

ブロック名 又は 建設事務所名	実施河川数	実施箇所数	参加機関数	参加人数	使用した 自動車 台数	廃棄物の量及び内容				合計(t)
						産業廃棄物(t)	内容	一般廃棄物(t)	内容	
佐久ブロック	8	10	25	35	28	0.00		0.585	タイヤ、金属くず、農業ごみ、プラスチックごみ 他	0.59
上田ブロック	40	124	39	127	47	0.034	タイヤホイール、ビニール、鉄くず 他	0.492	家庭ごみ、缶、ペットボトル、肥料袋、農作業用シート 他	0.53
松本ブロック	41	114	29	183	78	0.00		0.974	家庭ごみ、缶、農業用ごみ、肥料袋 他	0.97
長野ブロック	3	22	55	89	54	0.00		1.259	缶、瓶、タイヤ、ペットボトル、鉄くず 他	1.26
信濃川水系 小計	92	270	148	434	207	0.03		3.31		3.34
諏訪建設事務所	18	23	12	26	11	0.00		0.275	家庭ごみ、缶、ペットボトル、ビニール 等	0.28
伊那建設事務所	14	19	12	35	16	0.00		0.24	家庭ごみ、鉄くず、農業用資材、陶器 他	0.24
飯田建設事務所	33	46	20	78	45	0.13	鉄くず	0.34	家庭ごみ、缶、ペットボトル、ビニール、プラスチックごみ 他	0.47
天竜川水系 小計	65	88	44	139	72	0.13		0.86		0.99
木曾建設事務所	125	139	7	31	14	0.03	タイヤ 他	0.29	缶、ペットボトル、プラスチックごみ 他	0.32
木曾川水系 小計	125	139	7	31	14	0.03		0.29		0.32
合計	(285) 282	(475) 497	(180) 199	(431) 604	(207) 293	(0.06) 0.19		(1.73) 4.46		(1.79) 4.65

※上段()は平成29年度春の結果

2 実施結果

前回(H29春の河川一斉パトロール)の結果と比較して、2.86t増加した。廃棄物回収量は、以前減少傾向に変わりはないが、直前に比較的大きな規模の出水もあったため、漂流した廃棄物の回収が目立ち、回収量としては増となっている。まだ、悪質な投棄も確認されていることから、今後も引き続き河川愛護思想の啓発を図る必要がある。